

福岡便教会だより

第二十二号平成三十年二月二十三日発行

文責 福岡便教会 広報部

第二十二回福岡便教会研修会の概要

一月二十七日(土) 午前八時三十分～十一時四十分まで、福岡市立下山門中学校(西区)において『感動』をテーマに福岡便教会第二十二回定例研修会を開催しました。

参加者は、中学生百七十五名、学校職員四十六名、地域関係者一名、保護者一名、外部協力者七名、合計二百三十名でした。



今回はこの冬最大の寒波が襲来し、各地でインフルエンザが猛威を振るい、学級閉鎖等が行われる中での開催となり、参加する生徒の皆さんの健康が心配されました。幸いインフルエンザの影響もさほどなく多くの方が積極的に参加され十六グループ編制という大規模な研修となりました。

今回の研修会は福岡市教育委員会だけでなく文部科学省の後援も頂き福岡便教会としても気が引き締まる研修会となりました。

当日はあまりの寒さから一部水道が出ないなどのハプニングがありました。それぞれに手を温めるお湯の用意を、全体会場にはヒーターの準備と心遣いをいただき、寒い中でしたが心温まる研修会となりました。厳しい寒さの中ではありませんでしたが、下山門中学校の生徒さんや先生方の意欲と熱意を実感し、感動の一日となりました。

テーマ『感動』について

感動こそ人生。出来れば人を感動させるような生き方をしたい。そのためには自分自身が感動しやすい人間になることが第一。人は、その人が手と足と身体を使い、さらに身を低くして一所懸命取り組ん

でいる姿に感動する。とくに人のいやがるトイレ掃除は最良の実践です。生きるということは、感動するということだと思います。

感動のない人生は生きていく意味がありません。(中略)

自分も感動し、周囲の人にも感動を与えるような生き方をしようと思えば、自分の手と足と身体を使ってさらに身を低くして一所懸命に取り組むことだと思えます。その具体的な実践は、何も掃除だけとは限りません。身の周りのありふれた平凡なことに對して、ひたむきに打ち込んでいきますと、自分が予期しなかった感動が必ず生まれてきます。そういう生き方が人を感動させるのです。

感動してこそその人生だと思えます。
「掃除道」 鍵山 秀三郎(著) 亀井民治(編)
P H P 研究所より

開会式 酒井代表世話人挨拶から

今日こんな寒い朝早くから多くの生徒の皆さんがトイレ掃除に参加して頂きありがとうございます。

さて、あと二週間で韓国での冬期オリンピックが開かれます。技を競い合い、勝利を手にする人、敗れて涙する人、どのような結果であってもアスリートは今ある自分の姿に感動し、見ている私たちにも多くの感動を与えてくれます。

私たちも自分が感動し、周囲の人にも感動を与えることができる生き方をしたいものです。そのためには自分の手足を使い、身を低くして一所懸命取り組むことが大事です。

特に人の嫌がるトイレ掃除は最良の実践です。勇気を出して感動を味わうためにさあ一緒にトイレを磨いて心も磨きましょう。

最後まで頑張りましょう。



掃除後の感想文の紹介 一 生徒の感想

○ 最初はトイレ掃除に抵抗があったけれど、実際にやると自分でも分らないくらいに手が動きました。終わった後はとてもすがすがしい気持ちになりました。このような気持ちになったのは初めてだったので何か感じるものがありました。きょうのことを肝にめいじて生きていきたいと思えます。(三年男子)

○ 最初は大体きれいになればいいかなあと思っていたけど始めたらもう止まらなくなりました。便器の黒い輪の汚れが結構時間がかかったけれど、とれた瞬間はとても気持ち良かったです。協力して掃除したことはとてもやりがいがありました。(二年女子)

○ 最初はアカなどがあつていやでした。しかし、色々な道具を使つてするとどんどん落ちていききました。しかもリーダーの人がほめてくれてとてもやる気が出てきました。掃除道具はたくさん種類がありびっくりしました。今後はトイレのことを考えて使用したり、掃除は大切ということをやや考えて行いたいと思えます。こういう機会があれば何も考えていませんでした。ありがとうございます。(二年女子)

○ 最初トイレの汚れを見たときは絶望感しかなく「本当に終わるのかなあ」と思っていました。掃除をしていくうちに作業が楽しく思えてきて「これをピカピカにするまでは終わらないぞ」という気持ちになりました。最後は達成感しかなかったです。これから学校、家庭生活の中でも人がいやがってやらないことも進んでやろうと思えました。(一年男子)

○ 水こしを見たときに「こんなに汚い物がこの世にあるんだ」と思ったけれど、掃除をしていきだんどん落ちていく汚れを見ると気持ちいいし、やる気が出て来ていつのまにか黙々とやっています。今回の体験を通して人がやりたがらないことでも率先してやるのが大切だとわかり、これからは逃げずに立ち向かっていきたいです。(二年男子)



○ 自分は乾燥して手が切れていたもので便器は洗えず手洗い場を掃除しました。ナイロンタオルで隅々まで掃除をしてピカピカになったのですが少しでも汚れている所があると気になる自分がいて「残り10分です」とリーダーが言われた時にはスピードを上げて頑張りました。トイレをきれいにすると心もきれいになって良かったです。(二年男子)

○ 最初はトイレ掃除は寒そうでいやだなあと思っていたのですが掃除をしている内に「この汚れを落としたい。あっ、きれいになった。やったー」などの気持ちが出てあつという間に時間が過ぎてしまいました。掃除の途中に休憩を入れてくださった方がたいと思えました。またこのような機会があれば是非今日のように頑張りたいです。(一年女子)

○ トイレ掃除を通して色々なことを学ばせていただきました。その中でも役立つかなと思ったことは三角折りのことです。これをする意味は「次に使う人への心遣い」だそうです。最初の気持ちは汚れがひどくて落ちるかなあと思ってたけど終わったらきれいになってとてもすがすがしくなりました。僕は家ではトイレ掃除などあまりしたことがなかったのですが今は積極的にやっています。(一年男子)

○ 掃除をする前のトイレを見て汚すぎて言葉がないほどでした。しかし、トイレを目の前にして取り組んでみたら汚いことを忘れ、黙々と掃除をしていました。二時間も短い時間と思うほどでした。この便教会を体験してみて工夫する大切さと掃除の達成感を学びました。貴重な体験ありがとうございました。(三年男子)



二 教師の感想

○ 驚きの連続でした。まず掃除の徹底ぶりです。「そこまでするのか」という驚きです。家の掃除でもしないような隅々まで当たり前のように磨くことに最初はとまどいました。次に指導法です。生徒は手をゆるめることなく無心に取り組んでいました。一人一人のやるべきことが明確でひまを与えず、きれいになる喜びを味わいながら楽しくやる、ということがいかに大事かあらためて気づかされました。最後に多くの道具の準備、丁寧な指導に本当に感謝いたします。ありがとうございました。

○ 今回すばらしい体験をさせていただきました。ありがとうございます。日頃から生徒に清掃指導をしていますが今回の取り組みの「徹底」に驚きました。洗剤などは使わずにシンプルな道具を大切に使い。あんなにきれいなトイレになるとは思っていませんでした。教員という立場など忘れ、目の前にある汚れに無心で取り組みました。ふと生徒を見ると真剣に取り組んでいる姿に一体感を味わいました。その後のきれいな空気にも感動しました。

○ 武道場のトイレ3カ所を体験しました。初めの説明の時、ものすごい悪臭で正直自身も不安になりましたが、いざ始めると妙な使命感のような気持ちが出てきて生徒と一緒に、へトへトになるまで便器を磨きました。ありきたりですが達成感とか、充実感とか、そんな言葉でしか表現できなくて悔しいですが、よい体験をさせていただきました。生徒と一緒にできたこともとても良かったです。

心磨くトイレ掃除

福岡下山門中
生徒や教職員

西区下山門3の福岡市立下山門中(竹内義則校長)で27日、生徒や教員ら約210人が人の嫌がる作業を通じて心を磨くトイレ

の大掃除をした。教師を中心にした福岡便教会の定例研修会の一環、参加者は数班に分かれてトイレの水を抜いたりパーツを外したりして、普段は見えていなかった汚れをたわしやスポンジでこすっていた。2年生の藤本綾菜さんと新垣椎奈さんは

道新報
毎日
2018年1月28日

「最初は汚くてやりたくないと思っただけで、汚れがいつぱい取れた時はうれしかった」と笑顔。生徒を励ましたりしながら一緒に磨いていた児玉遼平教諭は「子供たちも物おしせずに取り組んでくれてうれしい。きれいになると達成感があった」と話していた。

三 保護者の方・リーダーの感想

○ 最初はネガティブな発言をしていた子どもたちが途中からどうしたら汚れが落ちるか考え、道具を選び、ひたむきに頑張っているうちに黄色だった便器が真っ白になり、子どもたちは「自分がやったのが一番きれい」と最後は言っていました。満足そうな笑顔が良かったです。今回はとても勉強になりました。ありがとうございました。(保護者)

○ きょうの研修会に参加させていただきました。下山門中学校の生徒さんの素直さ、まじめさにとても感動しました。少しでもトイレ掃除の素晴らしさを伝えられたらと思うと私も充実した時間を得ることができました。また参加させてください。(リーダー)

【総評(福岡市教育センター深堀雅基所長)】

今日は、皆さんの素晴らしい姿に感動しました。思い出してください。朝とても寒かったですね。トイレも汚れていましたね。くさかったですね。思わず窓を開けたぐらいでした。でも便器に向かって汚れを夢中になって取っていると寒さも忘れ、いつのまにか臭いも全く気にならなくなっていましたね。そんなひたむきな皆さんの姿に本当に感動しました。これからの皆さんの困難やいやなこと、つらいことにもぶつかるとして、今日のことを思い出してください。きっと皆さんだったら乗り越えられます。

今日学んだことを活かして学習に生活に頑張ってください。さらに素晴らしい下山門中学校にしてください。お疲れ様でした。

編集後記

厳冬の中ではありましたが参加してくれた下山門中の生徒さんの素晴らしい笑顔と素直な態度、そして頑張る姿は今回のテーマ「感動」そのものの研修会でした。ご参加ご支援いただきました皆様深く感謝いたします。

次回研修会は六月九日(土) 田島小学校の予定です。

